



Business Report 2016

第42期
中間事業報告書
平成28年1月1日～6月30日

株式会社ジョイフル
〒870-0141 大分県大分市三川新町一丁目1番45号 TEL.097-551-7131(代)
<http://www.joyfull.co.jp/>



Business Report 2016

第42期中間事業報告書

Restaurant
Joyfull

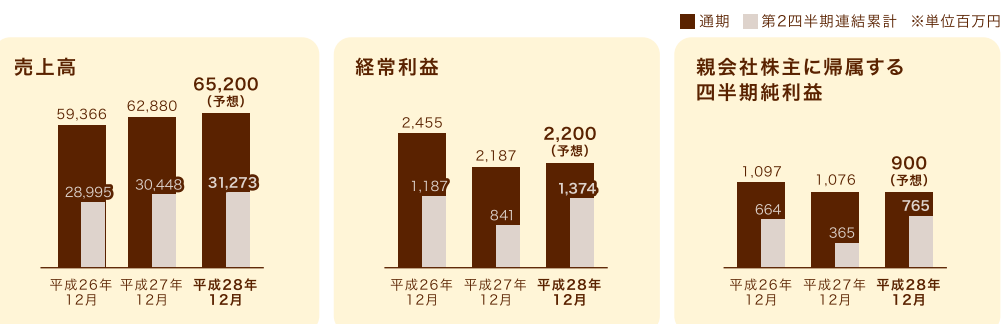
経営理念 Management Philosophy

私達は、チェーンレストラン事業を通じ、
顧客・株主・従業員・取引先・社会の、
精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

ジョイフル 店員の誓い Our Promise

私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、
どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、
永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

連結業績 ハイライト Consolidated Results



株主の皆様へ

3期連続増収。 熊本地震の影響はあるものの、経営努力により 本年度の連結業績見通しを達成できる見込みです。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第42期(平成28年12月期)の
中間事業報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますよう、宜しく願い申し上げます。

本年4月に発生した熊本地震により被害に遭われた皆様に、心より
お見舞い申し上げます。また、皆様の安全と被災地の一日も早い復興
をお祈り申し上げます。

熊本地震においては、弊社が熊本地方に展開する95店舗および
FC2店舗を一時的にクローズいたしました。株主様、お客様には
ご心配をおかけいたしましたが、現在は2店舗を残して、通常営業を
再開しております。

熊本地震を除くビジネス環境に関しては、当第2四半期連結累計
期間におけるわが国の経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の
影響がみられるものの、雇用・所得環境の改善傾向が続き、企業収
益が高水準で推移し、設備投資も穏やかな増加基調にあり、全体と
して緩やかな回復を継続している状況で推移いたしました。

一方、外食業界においては、円高の進行による原材料価格の下落
はあるものの、個人消費は一部に弱めの動きが見られ、労働力不足
による人件費の上昇などから引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは1月1日より持株会社体制
に移行し、地域に根ざした「いちばん身近なレストラン」として、「お
値打ち感を主とした商品の提供」と「お客様視点に立ったサービスの
実践」に取り組み続けてまいりました。

商品施策では、商品力および提供品質の向上を軸に、多様化する
消費者ニーズに対応した商品施策を推進しました。創立40周年を

記念した復刻メニューやモーニング限定メニューの全時間帯提供
など新たな取り組みを開始しております。

新規出店に関しては、関西以东を中心に新店5店をオープンいたし
ました。下半期に向けては新店出店を加速し、本年度の目標である
20店のオープンを目指します。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高
は3期連続増収の312億7千3百万円(前年同四半期比2.7%増)。
経常利益13億7千4百万円(前年同四半期比63.4%増)、四半期純
利益7億6千5百万円(前年同四半期比109.6%増)となりました。
大幅な増益となった理由は、原材料価格が下落し、売上原価率が下
がったことによるものです。

熊本地震による影響は未だ残る
ものの、経営努力により、本年度
の期初計画を達成すべく取り組ん
でまいります。株主の皆様におか
れましては、今後とも当社へのご
理解とご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

代表取締役社長

穴見 くるみ





※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。

平成28年上期 主な取り組み結果

【熊本地震による影響について】

平成28年4月に発生した熊本地震により、ジョイフルではグループ会社が運営する95店舗とFCの2店舗を一時的にクローズ。5月中旬以降、順次、通常営業の再開を果たしてまいりました。6月末時点で、営業再開の見通しが立たないのは、熊本の川尻店、およびFCの熊本大津店のみとなりました。また、時短営業を行なっているのは阿蘇赤水店の1店舗となりました。なお、川尻店につきましては、被災した店舗での営業再開は困難と判断し、誠に遺憾ながら7月末をもって閉店とさせていただきます。今回の震災による弊社業績への影響として、1億1百万円を特別損失に計上いたしました。これは熊本地震発生に際しての商品の廃棄、設備修繕費等を含む復旧に係る原状回復費用等によるものです。

商品施策

新商品・サービスによる商品力の強化

本年1月より開始した「40周年ありがとう記念 復刻メニューフェア」では、ジョイフルのハンバーグの味の原点を再現したジョイフルハンバーグを発売しました。また、2月には「40周年ありがとう記念 第2弾」として、従来60歳以上の方のみに限定していたモーニングメニューの全時間帯販売に関し、年齢制限を撤廃しました。創立40周年を迎え、お客様への感謝の意を込めた施策となります。おかげさまで幅広い年齢のお客様から好評を得ております。また、5月には恒例の夏フェアをスタートしました。こだわりの氷で作る「かき氷」および「冷やしチャーシューうどん」など、夏の人気メニューの売上が好調に推移しております。ジョイフルでは、お客様に繰り返しジョイフルをご利用いただけるよう、さらなる魅力的な商品やサービスの開発に努めてまいります。

熊本地震 店頭義援金のご報告

店頭で実施した義援金募金の総額は以下の通りとなりました。日本赤十字社を通じて熊本県・大分県にお届けいたしました。

総額 8,333,117円

義援金にご賛同いただいた皆様に御礼申し上げます。



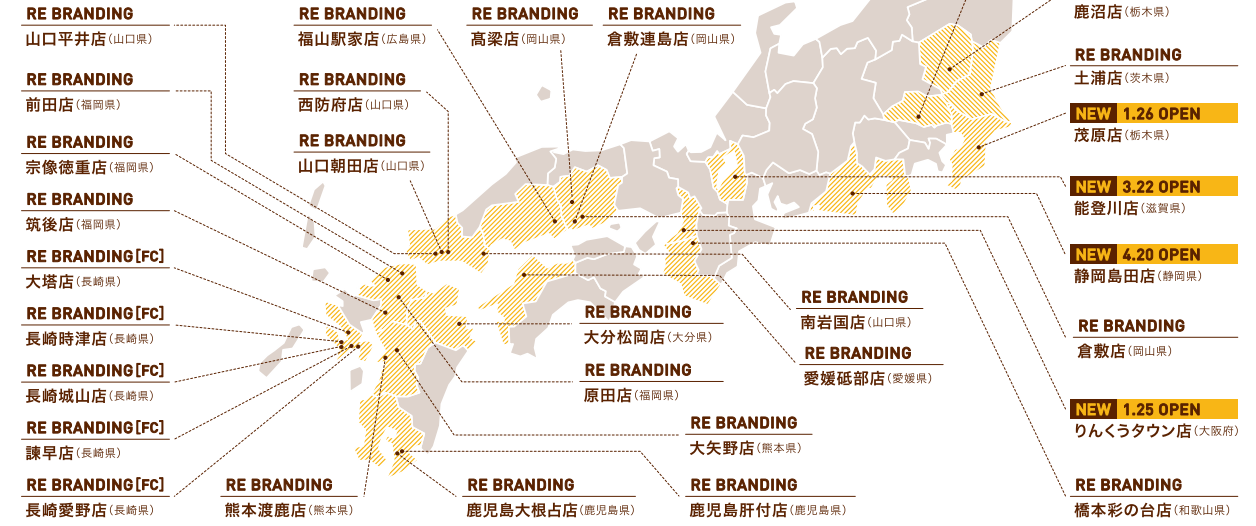
▲ジョイフルハンバーグ&えびフライ
790円(税込854円)

出店施策

既存店のリブランディングを強化

平成28年上期において、新店5店舗を関西以東にオープンさせました。また、大分県内の数戸店を閉店いたしました。これにより、ジョイフルブランドの店舗は、766店舗となりました。新業態である「はらぺこ丸」および「陽菜多」を含めると、ジョイフルが展開する店舗はトータルで768店舗となりました。また、既存店舗のリブランディング(新ブランドデザインへのリニューアル)を加速しました。上半期においては、ジョイフルグループが21店舗、FCが5店舗、リブランディングを実施いたしました。新ブランドデザインの店舗は、ブラウン、オレンジ、イエローをあしらった落ち着いた雰囲気が特長で、分煙環境が整備されています。健康志向が高まる中、ファミリー層のお客様等から高い評価を受けており、リブランディングした店舗の売上は、好調に推移しております。

▼新ブランドデザイン店舗例



人材の育成と 定着

新人事制度の導入による職場 環境のさらなる改善

本年4月より、ジョイフルでは新人事制度を導入いたしました。少子高齢化などが進む中、定年制度の撤廃、子育て支援の充実、介護休暇制度などの拡充を行ないました。これにより、ワークライフバランスのとりやすい、働きやすい職場環境の実現を目指します。また、コンプライアンスへの取り組みも強化しており、労働基準法を遵守した職場作りを推進しております。



商品施策

商品力のさらなる強化

6月末のメニュー改定において、ランチメニューに関し、新しい施策を導入しました。グリル料理にライスまたはパンが無料でつく「グリルランチ」の提供を平日だけでなく日曜・祝日に拡大。「日替りランチ」「日替り昼膳」においても、月曜～土曜の提供に加え、祝日の提供を開始いたしました。週末にジョイフルを利用されるファミリー層のお客様をはじめ、幅広いお客様から支持をいただいております。

また、創立40周年を記念し販売を開始した「ジョイフルハンバーグ」は、継続的にお客様から高いご支持をいただいていることを踏まえ、6月末のメニュー改定時に、和風テイストをラインアップに追加しました。下期においても冬フェア、グランドメニューの改定を行なう予定で、現在商品を鋭意開発中です。ジョイフルではこれからも、「安くて」「おいしい」料理をより多くのお客様に提供することを目的とし、商品開発の強化に取り組んでまいります。



出店施策

新規出店およびリブランディングの推進

下半期は関西以東を中心に新店15店の出店を計画しております。7月6日にはJR大分駅から程近いところに大分駅南口店を出店いたしました。ジョイフルの店舗はロードサイドを中心に展開しておりますが、JR大分駅に程近いコレジオ大分ビル内にある店舗はJR駅利用者や、近隣の公共施設を利用する方々のご利用を見込めるため、特別な仕様を採用いたしました。また、旧タイプの店舗のリブランディングについては、下期は約40店舗実施する予定です。本年度のリブランディング店舗はトータル約60店舗になる予定です。これにともない、ジョイフルの新ブランドデザインの店舗数は、今年度末に全国で約130店舗となります。ジョイフルは今後も、お客様のニーズに応えるため、新ブランドデザインの店舗を増やしてまいります。

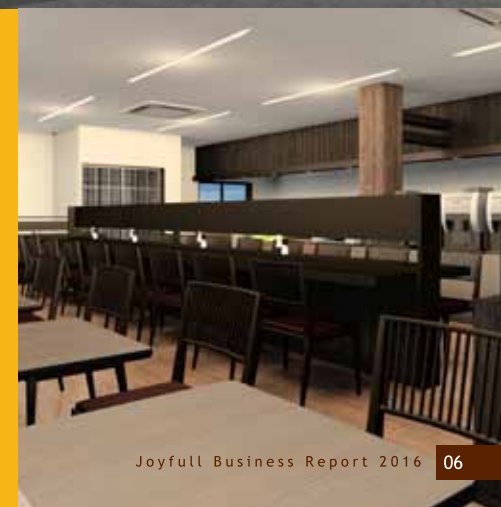


大分駅南口店はカウンター席が用意されているほか、フリーWi-Fi、電源プラグなどもあり、パソコンやスマートフォンなどを快適にご利用いただけます。

新業態
開発



本年9月、大分県大分市に、定食全品500円均一(税込)の「喜楽や」をオープンします。「喜楽や」はジョイフルが新業態開発として取り組んできた実験店舗「はらべこ丸」をベースに展開するものです。「喜楽や」は和食カフェテリア方式のお店です。主菜をお好みで選ぶことができる定食は、365日、昼・夜問わず、500円(税込)とリーズナブル。定食には副菜が1品つき、さらにご飯、味噌汁、キャベツ、漬物、コーヒーはお替り自由となっています。また、お替りは2杯目からご飯かうどんか選べます。店内には、カウンター席、テーブル席をご用意していますので、おひとり様から、ご家族連れや友人、仕事仲間などのグループでも安心してご利用いただけます。なお、「はらべこ丸」を年内にリニューアルして「喜楽や」へと転換する予定です。年内に、「はらべこ丸」のリニューアルを含めて、5店舗オープンさせる予定です。



連結財務諸表
Consolidated Financial Statement

資産の部
当第2四半期連結会計期間末の総資産は259億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億3千7百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加、有形固定資産の増加によるものであります。

負債の部
当第2四半期連結会計期間末の負債合計は105億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7千万円の増加となりました。これは主に未払費用の増加、買掛金の減少によるものであります。

純資産の部
当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は154億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億6千6百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

売上高
売上高は312億7千3百万円(前年同四半期比2.7%増)と、好調に推移しました。「商品開発プロセスの強化」による商品力及び提供品質の向上を軸に、お客様の消費動向を捉えながら多様化する消費者ニーズに対応した商品施策を推進した結果、創立40周年を記念した復刻メニューやモーニング限定メニューの全時間帯提供などの取り組みがお客様的好评を博しました。

営業利益・経常利益
営業利益は13億1千9百万円(前年同四半期比60.0%増)、経営利益は13億7千4百万円(前年同四半期比63.4%増)となりました。増加の主な要因は、原材料価格の下落により、売上原価率が下がったことによるものです。

連結貸借対照表(要旨)			(単位:百万円)
科 目	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成28年6月30日)	
資産の部			
流動資産	5,480	5,836	
固定資産	19,866	20,147	
有形固定資産	14,813	15,040	
無形固定資産	72	100	
投資その他の資産	4,980	5,006	
資産合計	25,346	25,983	
負債の部			
流動負債	7,207	7,448	
固定負債	3,149	3,079	
負債合計	10,357	10,528	
純資産の部			
株主資本	15,006	15,478	
資本金	6,000	6,000	
資本剰余金	2,390	2,390	
利益剰余金	10,388	10,859	
自己株式	△3,771	△3,771	
その他の包括利益累計額合計	△17	△22	
その他有価証券評価差額金	11	0	
純資産合計	14,989	15,455	
負債純資産合計	25,346	25,983	

連結損益計算書(要旨)			(単位:百万円)
科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	
売上高	30,448	31,273	
売上原価	10,965	10,773	
売上総利益	19,483	20,499	
販売費及び一般管理費	18,658	19,180	
営業利益	824	1,319	
営業外収益合計	61	106	
営業外費用合計	44	50	
経常利益	841	1,374	
税金等調整前四半期純利益	812	1,274	
法人税、住民税及び事業税	309	444	
法人税等調整額	137	64	
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	365	765	
四半期純利益	365	765	

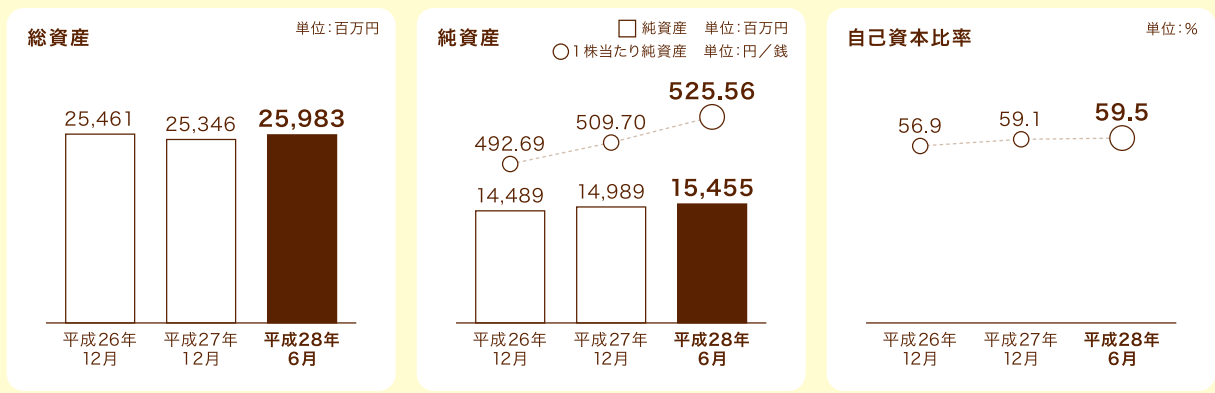
※金額は百万円未満を切捨表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)			(単位:百万円)
科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	
営業活動による キャッシュ・フロー	742	1,653	
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,153	△620	
財務活動による キャッシュ・フロー	△507	△562	
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△919	470	
現金及び現金同等物の 期首残高	3,288	3,104	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,369	3,575	

営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果得られた資金は16億5千3百万円(前年同四半期比122.8%増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益12億7千4百万円、未払費用の増加額6億6千9百万円、減価償却費5億6千9百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額4億6千9百万円、法人税等の支払額3億5千4百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果使用した資金は6億2千万円(前年同四半期比46.2%減)となりました。支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出5億2千2百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果使用した資金は5億6千2百万円(前年同四半期比10.7%増)となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額2億9千2百万円、長期借入金の返済による支出1億4千2百万円、短期借入金の純減額1億円であります。



株式情報
Stock
Information

株式の状況

発行可能株式総数
120,000,000 株

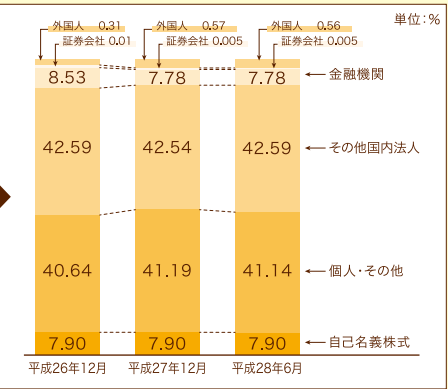
発行済株式総数
31,931,900 株

株主数
12,808 名

株式の所有者別状況

	平成26年12月31日現在		平成27年12月31日現在		平成28年6月30日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	9	4,572	7	1,772	7	1,672
外国人	18	99,400	26	183,500	25	181,000
金融機関	14	2,725,162	13	2,485,262	13	2,485,262
その他国内法人	82	13,600,080	86	13,584,180	85	13,600,680
個人・その他	11,577	12,978,822	12,459	13,153,224	12,677	13,139,252
自己名義株式	1	2,523,864	1	2,523,962	1	2,524,034
合 計	11,701	31,931,900	12,592	31,931,900	12,808	31,931,900

株式の所有者別構成比率の推移



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会の議決権／毎年12月31日 期末配当金／毎年12月31日 中間配当金／毎年6月30日(中間配当を実施する場合)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
公告の方法	取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。 電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により 電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://www.joyfull.co.jp/
上場取引所	福岡証券取引所

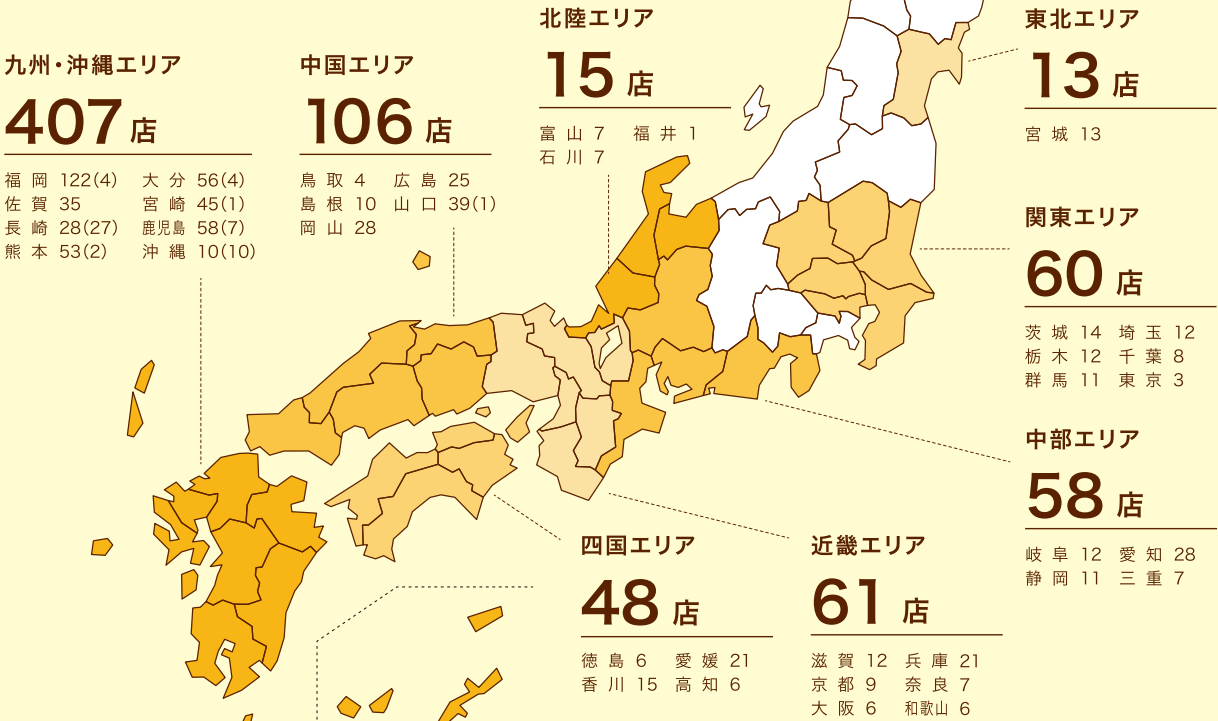
- ◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
- 株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行
株式会社に申し出ください。
- ◎未払配当金の支払いについて
- 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に
申し出ください。
- ◎「配当金計算書」について
- 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措
置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告
を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、
配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいて
おります。※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

会社情報・
店舗情報
About Us

店舗一覧 店舗ネットワーク

768 店

うちFC店舗56店 ※()内はFC店舗
※平成28年6月末時点 ※新業態含む



会社概要 (平成28年6月30日現在)

社名	株式会社ジョイフル	創業	昭和40年6月	資本金	60億円
本社所在地	大分県大分市三川新町一丁目1番45号	創立	昭和51年5月	主な事業内容	「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開
大分工場	大分県大分市三川新町一丁目1番45号	連結子会社	株式会社ジョイフル東関東・東北／株式会社ジョイフル西関東・北陸／株式会社ジョイフル東海／株式会社ジョイフル近畿／株式会社ジョイフル中国／株式会社ジョイフル四国／株式会社ジョイフル北九州／株式会社ジョイフル中九州／株式会社ジョイフル東九州／株式会社ジョイフル西九州／株式会社ジョイフル南九州／株式会社ジョイフルサービス／台湾珍福餐飲股份有限公司		
大分配送センター	大分県大分市下郡3410番1号				
熊本工場・配送センター	熊本県菊池市袈裟尾字下大迫445番4号				
愛知工場	愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号				